

第3章 バリアフリーに関する現況と課題

3 - 1 当事者アンケート調査結果

交通バリアフリー基本構想の策定にあたっては、高齢者、障害者など当事者の意見を十分把握しながら進める必要があります。

そこで、平成14年11月～12月に、高齢者、障害者など当事者を対象としてアンケート調査を行いました。その中から主要なものを抜粋し、以下にまとめます。

(*) 移動困難のある人・・・「外出されるとき歩行や階段の上り下りについて困難があるか」との設問に対して「大変困難がある」「やや困難がある」「場合によっては困難がある」と答えた人

移動困難のある人・・・上記の設問に対して「特に困難はない」と答えた人

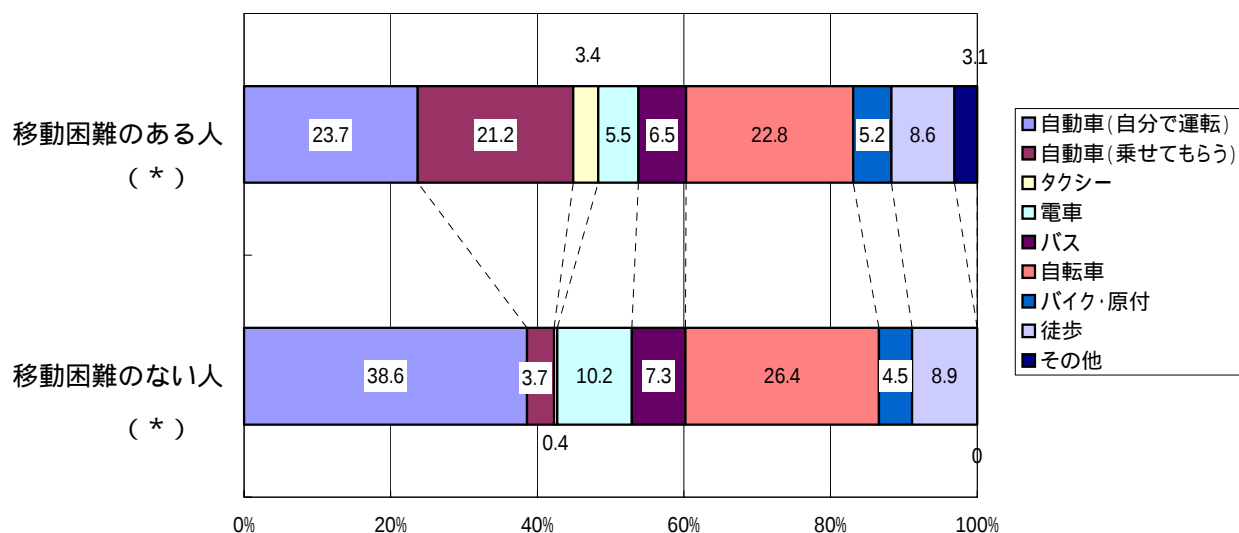


図3 - 1 外出時の交通手段

表 3 - 1 最も多い外出先と外出目的

移動困難のある人 (*)	最も多い外出先	「医療施設」22.2% 「福祉施設」17.5% 「商業施設」17.5%		
	外出目的	「通院」 26.2%	「買物」 26.2%	「趣味・娯楽」13.3%
移動困難のない人 (*)	最も多い外出先	「職場」 27.6%	「商業施設」17.7%	「福祉施設」 8.6%
	外出目的	「通勤」 28.3%	「買物」 22.9%	「趣味・娯楽」14.6%

表 3 - 2 バリアフリーのまちづくりについての意見等

	移動困難のある人 (＊)	移動困難のない人 (＊)
駅	・エレベーター・エスカレーターの設置を ・無人駅は困る	・駅のバリアフリー化を早急に実施してほしい
道路	・歩道が狭い ・道路や歩道の整備を ・自動車の通行量多く危険	・歩道の段差などの整備を ・街灯、防犯灯の設置を
自転車	・駐輪場の増設を ・自転車の通行マナーが悪い	・自転車の通行マナーが悪い(中高生) ・放置自転車の取締りを
バス	・ステップの低いバスを	・バスの運行が少ない
まち全般	・バリアフリーのまちづくりは重要 ・市全体でも取り組んでほしい	・基本的なまちづくりをまずしっかりと ・お年寄りや幼児にも住みやすいまちを
心	・心のバリアフリー、思いやりも大切	・市民のマナーと思いやりを ・市民運動やボランティアの促進を
その他	・駅前に障害者が利用しやすい駐車場がほしい ・公民館などの建物のバリアフリー化をしてほしい	_____

3 - 2 ワークショップ及び現地調査結果

特定経路候補の道路などについて、高齢者、障害者など当事者の利用上の問題点を把握し、整備の方向性を定める上で参考とするため、ワークショップ及び現地調査を開催しました。参加者より寄せられた意見の中でも特に多かったものを以下に整理します。

表 3 - 3 特に意見の多かった対象物

(共)・・・ 加古川周辺地区、東加古川周辺地区で共通に挙がった意見
(加)・・・ 加古川周辺地区のみの意見
(東)・・・ 東加古川周辺地区のみの意見

(開催日：平成 14 年 11 月 27 日(水) 参加者数：計 65 名)

対 象 物	意 見
歩道上の設置物	歩道上の広告物や標識がじゃま(共) 市役所線の歩道に植えてある松が視覚障害者にとって危険(加) 歩行者自転車道の表示が消えている(東) 車止めのポールを分かりやすく(東) 歩道の真ん中にある信号機の柱がじゃま(東)
道路の誘導用ブロック	一部途切れている・すりへっている・色あせがある(共) 設置方法に問題あり(加)
道路の側溝	側溝の蓋がない、破損している(加)
道路と歩道の接続部	道路と歩道の接続部に段差や急勾配がある(共)
信号機	市役所北の交差点に信号機がない(加)
バス停	時刻表の文字が小さい(共)
駅の改札周辺	車いす用対応の券売機がない(共)



写真 表示が消えている歩行者自転車道



写真 歩道の真ん中にある信号機



写真 設置方法等の問題がある誘導用ブロック



写真 蓋が破損している側溝



写真 バスの時刻表



写真 駅の券売機